

表面実装型フォトリフレクタ NJL5901Rのサンプル配布開始

COBP (Chip on Board Package)を採用する事で小型・薄型を実現

新日本無線では、小型・薄型のアプリケーションに最適な表面実装型のフォトリフレクタNJL5901Rの開発を完了しサンプル配布を開始致しました。

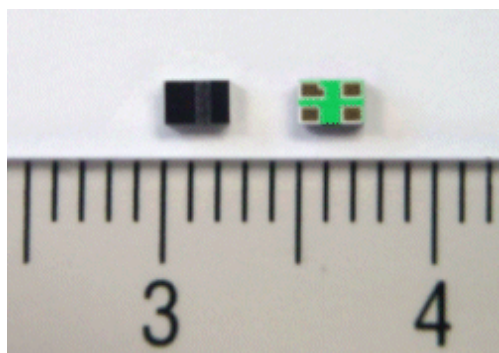
NJL5901Rは発光素子と受光素子を内蔵した反射型のフォトセンサで、COBPを採用する事で $2.4 \times 1.6 \times 0.8\text{mm}$ のサイズを実現。反射型フォトセンサとしては最小・最薄サイズ。(2002年10月1日時点)

NJL5901Rは、当社従来品NJL519xKシリーズの特性を維持しつつ、

1. 外形サイズ: $2.4 \times 1.6 \times 0.8\text{mm}$ (当社従来品NJL5196/97K-F25体積比 25%)
2. 高出力: 出力電流 $250\mu\text{A}$ typ. (NJL519xKシリーズ $100\mu\text{A}$ typ.)
3. 鉛フリー対応。

を実現し、光ストレージなどのモータ回転検出やカメラのフィルム検出などの、小型・薄型のアプリケーションに最適です。

(2002年12月13日)



<製品の機能および特徴の概要>

- ・ 順電圧 1.4V max. @IF=4mA
- ・ 出力電流 $250\mu\text{A}$ typ. @IF=4mA, Vce=2V, d=0.7mm
- ・ 暗電流 200nA max. @Vce=10V
- ・ 動作暗電流 $2\mu\text{A}$ max. @IF=4mA, Vce=2V
- ・ 動作温度 $-20 \sim +85^\circ\text{C}$

<生産予定/サンプル価格>

弊社では、NJL5901Rのサンプル配布を2002年12月より開始し、生産は2003年3月より月産30万個で立ち上げる予定です。なお、サンプル価格は@¥50です。